

# 文化講演会

## 「近代の金沢《富岡》の隠ればなし」

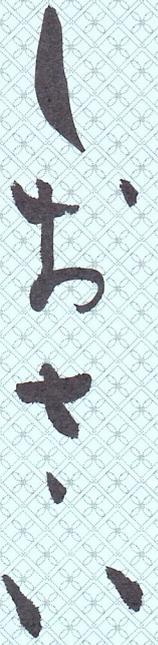


佐伯隆定 師

恒例の行事として、春季に、「文化講演会」を主催しております。今年3月8日、金沢地区センター大会議室において、「近代の金沢《富岡》の隠ればなし」と銘うった文化講演会を、会場に超満員の聴衆を集めて開催しました。講師は、皆さんご存知とは思いますが、富岡東に所在する真言宗御室派の花翁山慶珊寺の住職・佐伯隆定師で

した。講師は当寺に直接・間接的に関係があった、また金沢区富岡に  
関係の深かった次の3人の有名人を取り上げられました。ヘボン式ローマ字で馴染みの深いジエームス・ヘボン博士、小説「南国太平記」や直木賞で名高い作家の直木三十五氏、日本画の押しも押され

NPO法人  
横浜金沢文化協会会報



NPO法人  
横浜金沢文化協会  
編集人 野中 建吾  
781-5044  
発行人 後藤 政也  
理事 幸栄印刷(株)  
716-3366

川合玉堂師の3人に係る、誰もが「へえー?」と以外に思われる「隠れ話」が披露されました。講師の佐伯住職は、高野山高校の教師を経て、明倫高校(現・横浜清風高校)の校長をも務められた経歴を有する博学多識の文化人です。また、話術に長けておられ、聴衆はつい師の緩急を弁え、ユーモアを交えた話術の虜になる有様でした。師の講演が終るや、金沢区富岡に關係のある孫文氏の動静、富岡領主・豊島刑部少輔明重の江戸城西の丸殿中での刀傷事件等々、「次は『近代金沢《富岡》の隠ればなし(その二)』を聞きたい」との声が、あちこちで聞かれましたが、そのとおり「第二話」が待たれる次第です。

### NPO法人 横浜金沢文化協会 定期総会

平成21年度総会が5月31日、能見台地区センター大会議室にて行われました。白井総務部長の司会で開会され、議長に野中副理事長が選任されました。最初に後藤新理事長の挨拶と副理事長の紹介があり、続いて御来賓の祝辞を頂戴致しました。中川金沢区副区長からは「文化施設等についての今後の方針」について、

また議員団代表荻野慶子市会議員からは「地域発展の方針」について、また松本純国会議員からは「国の経済安定・社会保障等」についての貴重なお話を伺いました。今回はNPO法人になって初めての総会であり、手続が厳格で少々手間取りましたが、多数の会員の出席のもと、順調に議事が進行し、提案の案件すべて承認され、よい雰囲気の中に総会が終了致しましたこと、皆様にお礼申し上げます。総会後の懇談会では後藤理事長から「文化協会の今後の方針と活動」についての説明が行われ、これを基に活発なご意見が出され、総会同様、和やかな中に閉会となりました。



前号でお知らせしました「横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会」主催の「俳句短歌ポスト制度」の第1回表彰式が、短歌は4月23日、俳句は翌24日、金沢区民活動センターにて行われ、優秀作品に対する賞状が、石井金沢区長、野中横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会、後藤NPO法人横浜金沢文化協会理事長、片岡横浜金沢観光協会会長、宮崎NPO法人横浜金澤シティガイド協会理事長からそれぞれの作者に渡されました。得てして硬くなりがちの表彰式が、表彰を受ける少年少女の無邪気な言動により、式場の雰囲気は和やかなものとなり、楽しい有意義な表彰式となりました。

次に表彰された作品を紹介いたします。

なお、今後とも、金沢区の良さを広く周知・宣伝させるためにも、皆様のお知り合いの方々にこの制度を口コミして頂ければ幸甚に存じます。

# 「横浜金沢を詠う」

## 俳句短歌ポスト制度 第1回表彰式の実施



### 【俳句の部】

\*横浜市金沢区長賞

(天位) どんぐりを拾う子の声二松庵  
金沢区金利谷西 白井 俊一

(地位) 草萌えて金利谷台地動き出し  
金沢区富岡西 小幡 友子

(人位) 自然はねみん仲良し友達さ  
逗子市 (小学生) 北村かりん

\*横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会賞

(天位) 海風の金沢緑地蟬時雨  
栄区本郷台 秋元 孝之

(地位) 阿字ヶ池暮色に白き梅匂う  
金沢区泥亀 太田 修

(人位) はっぱやしぜんがいつぱい森の中  
金沢区六浦東 (不学生) 執行 海紋

\*NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) パノラマの金沢八景紅葉晴  
金沢区金利谷西 鏡 保太郎

(地位) 春ざれや一湾望むのはな館  
金沢区平潟町 鈴木 勇夫

(人位) 浜どんど火を上げ昼の月ほのか  
金沢区並木 大井 実

\*横浜金沢観光協会賞

(天位) 地石に揺るもの無し冬の池  
金沢区金利谷西 長井 恵子

(地位) 一と雫日に湖垂れて鯉釣らる  
保土ヶ谷区仏向町 桑本 俊洋

(人位) 池善請しかと見据ゑる寛時像  
金沢区富岡西 大川 一馬

\*NPO法人横浜金澤シティガイド協会理事長賞

(天位) 紅葉山背に鰯口を一打二打  
金沢区金利谷南 橋場 美篤

(地位) 春いちばん夕照橋を駆けぬける  
金沢区並木 長谷川友久

(人位) 平潟の春を告げたる鶯の笛  
金沢区六浦南 鈴木 正

\*短歌の部

\*横浜市金沢区長賞

(天位) 開園日玉堂しのぶ二松庵  
ソプラノの声梢にひびく  
金沢区金利谷東 後藤 政也

(地位) 称名寺の黄葉池に舞ひ降りて  
緋鯉や亀の仲間入りする  
金沢区堀口 木村 靖一

(人位) 大学のキャンパスから見る八景の  
いつもの景色に心やすらぐ  
金沢区東朝比奈小笠杉本ありさ

# 写団「夢」10周年記念写真展



今年は、横浜開港150周年と市民にとり、記念すべき年であるとともに、我が写真同好会「写団「夢」」の創立10周年と節目の年でもあることから、NPO法人横浜金沢文化協会の後援を得、市民ギャラリーにて、6月1日より一週間、「写団「夢」創立10周年記念写真展」を開催した。

出展作品のテーマは、祝開港記念として①県花、市花そして区花、②「光と影」及び「自由課題」をテーマとして横浜に因んだ作品、③全くの自由テーマ作品と3つのジャンル別に作品作りを行った。

出展作品数は、区花等の小作品を含め、80数点となり、会期中にはJCNの取材報道もあり、来場者は延千人を超える盛会となった。

関係諸氏のご支援に感謝するとともに、引き続き会員一同魅力のある作品作りに精進する所存でありますので、一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

### 第二十二回

## 金沢区書道協会展

第22回金沢区書道協会展は、4月1日(水)～6日(火)の間、杉田劇場内「磯子区民文化センター・ギャラリー」で開催されました。流派を超えた書道家の諸先生をはじめ、門下生の力作60点。素晴らしい作品は、漢字、かな書きそして近代詩文、絵を添えたものなど多彩な展示で観者を魅了していました。

普段、身の回りの活字生活の中で墨と筆による、華やかな中、静かに心に沁みる伝統文化の粋を堪能することが出来た作品展でした。なお、会員一同、次回展に向けて、より良い作品作りに精進しております。ご期待ください。



## 青少年伝承事業 海苔づくり教室の開催

当文化協会では毎年、恒例の青少年伝承事業として、「金沢街づくりの会」と「横濱金澤シティガイド協会」と共催で、小学生を対象とした「海苔の手作り教室」を開催しています。今年も、3月29日(日)、桜の花が開き始めた野島公園内「青少年研修センター」前の木漏れ日の適当に風の通る場所で開催されました。金沢区内の小学生とその保護者やスタッフら百人近くが参加して、終日、海苔作りに熱中しました。具体的には、スタッフが用意した刻み生海苔を再度細かく刻み、枡にすくって簀子に載せ、それを簀子掛に掛けて干す、と言う手順にみんな真剣に取り組みました。海苔の乾燥までには数時間を要するので、その間、昼食・海苔教室・野島山頂で金沢の海・山・



町並みを遠望しての地理教室に充てました。夕方、待ちに待った海苔を簀子から外す作業が始まると、「私のは穴が開いている」「僕のは、端の方が切れている」などなど、出来具合を楽しくそして羨しく批評し合っている光景が、あちらこちらで見られましたが、みんな明るい笑顔でした。また、この作業を通じて、食べ物を作ることの苦労、食べ物の大切さをも会得した様子でした。



金沢では、明治10年ごろから、海苔の養殖が始まり次第に盛んになり、昭和40年代までは、柴・野島では漁業の柱の一本となっていました。金沢海岸地先の埋立開始等により終息に向かいましたが、金沢での海苔作りと塩づくりは、伝承文化遺産であり、今後も恒例事業として継続することにしております。

また、真夏日の6月7日(日)、八景島「第10回あじさい祭り」の野点席に協力しました。暑い中、150名の来席で、「毎年楽しみ」との声も聞かれました。今後とも地域に貢献して参りたいと存じます。

「区」の焼印上用を使用。来席の方々に「とても楽しかった」と喜ばれ盛況でした。ご支援して下さいの皆様のおかげで無事終了し、会員一同心から感謝申し上げます。

設け、小・中学生を含め100名に茶の立て方等を行いました。客船ターミナルには、表千家席を設けました。「区」のテーマを基に道具組を致し、菓子には開港当時を再現できるように、区内菓子組合店に注文、海苔を使ってもらいました。他に、



爽やかな天候のもと計320人の参加者がありました。オープンモールにおいて、裏千家のほかに、体験コーナーを



茶会等の開催

横浜開港150周年記念

の一環として、「南横浜

茶会」を6月2日(火)、

八景島において、金沢

区役所、NPO法人横

浜金沢文化協会の後援

八景島の協力を頂いて

開催しました。

爽やかな天候のもと

計320人の参加者があり

ました。オープンモー

ルにおいて、裏千家の

ほか、体験コーナーを

横浜備前焼

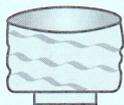
悠心陶芸教室

作品展の開催

2年に一度開催する備前焼の作品展を、去る6月19日(金)から6月21日(日)までの3日間、茅葺屋根が特徴の金沢区瀬戸の市指定歴史的建造物、旧東照宮客殿にて開催しました。客殿を所有する備前焼作家、木村隆男氏とその主宰する陶芸教室の会員による計百余点の作品を展示しました。壺、花入、水指、茶入など茶碗、茶器類に加え、細工物など会員の個性が光る作品が出揃いました。

今回は特別企画として、木村先生の作陶実演が催され、大変満足し、納得して帰っていただきました。また、会員による抹茶サービスマも、客殿と庭園を利用して行われ、大半の方々にご興味いただくとともに、作品販売も格安とあって飛ぶように売切れてしまいました。こうして作品展も、大好評裡に終了しました。

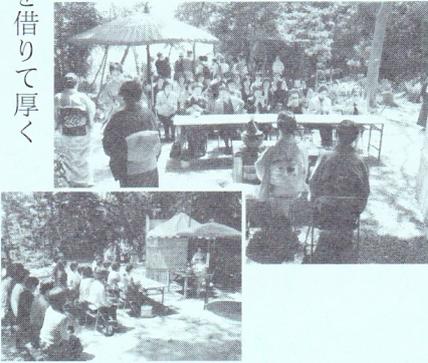
なお、今年の神奈川県美術展工芸部門に会員5名が入選しました。



# 旧川合玉堂別邸の野点

京急富岡駅から徒歩3分の所にある旧川合玉堂別邸が、平成18年4月に一般公開されてから今年で4年目になります。公開日のうち年に数回イベントを行っておりまして、今年5月2日に地元・金沢茶道会のご協力で野点を実施しました。お菓子は地元の「紅谷」です。玉堂邸は野点に格好の場所、会場は里山風の2000坪ある敷地の上の平地に設営します。

テントを張り、周りをヨシズで囲って雰囲気作りをします。客席はイスを並べます。野点は毎年行っておりまして、市民の皆様から大変ご好評を頂いております。今年は広報効果もあつたかと思いますが、10時の開門前から沢山の方が並ばれ、受付・ガイド・茶道会の先生方も応対に大奮でした。お天気もよく富岡八幡宮の森を眺めながらの一服も、また格別の味を添えます。今日一日の入園者は約500名で通常の月の3倍以上でした。これは金沢茶道会の先生方のご努力によるものですが、その裏には玉堂邸活動委員会・企画広報班はじめ、ボランティアの皆様のご協力があります。紙上を借りて厚く御礼申し上げます。



# 瀬戸神社居合道奉納演武会

五月晴れというより、初夏を思わせるような天気にも恵まれた、平成21年5月23日、恒例になった瀬戸神社居合道奉納演武会が、金沢八景の由緒ある瀬戸神社にて、奉納演武実行委員会代表・日本居合道協会会長、夢想神傳流第廿世正傳高田学道先生を中心に、有心義塾高田道場門人、各流派の剣士、先生方、多数の参加により、盛大に挙行されました。



居合道は林崎甚介源重信公を始祖とし、室町時代より連綿と受け継がれてきた武道です。居合道は、刀を用いた心身修学の道です。また鞘の内と言う言葉があり、戦いを好まず、平和を希求しているのです。この道を究めることにより道徳心を開発し高め、世道人心教導のための一役を担おうとするのです。奉納演武会は、日頃の鍛錬の成果を神に献上すると共に、この事を多くの人々に知って頂き、自己の人格完成に努め、一燈照隅、万燈照国を目指し、日本や世界の平和発展となる事を祈念するのです。

# 金沢吹奏楽団 第39回定期演奏会



産声をあげてから48年の歳月が流れました。この長きに渡り、常に当楽団の活動にご理解とご支援を頂いております地域の皆様には、本当にありがたく、団員一同、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、6月14日みなとみらいホールで開催しました第39回定期演奏会では、2006年に続くレスピーギのローマ3部作からの2弾「ローマの松」に挑戦し、ホール全体で金管楽器の醍醐味を存分にお聴き頂きました。続くポップスステージは、今年も岩井直博先生をゲストにお迎えし、気の利いたトークをスパイスに、気負わず楽しく、始めから終わりまでお客様とステージと一緒にウキウキするような楽しい時間を過ごすことができました。クラシックからポピュラーまで、吹奏楽ならではの魅力を十分にご堪能いただけたと自負しております。善き先輩諸氏が築かれたアマチュアリズムは現団員の中に強く受け継がれ、より良い音楽を目指して日夜研鑽を重ねておりますので、これからもご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 楽しい「本の時間」

六浦小学校の1・2年生への『本の時間』は今年で9年目。毎月7つのクラスにそれぞれ、3・4時間目の1時間限らずを本の朗読を主として素話、民話、紙芝居、パネルシアターなどを行っています。「みんなこの時間を楽しみにしています」との先生のお言葉や、ニコニコ顔で図書室に入ってきて「今日はどうなお話？」と聞いてくれる生徒達の様子に、ドキドキするほどの幸せを感じています。

本は「楽しく聞けて心に残る作品を」との思いで選ぶのですが、クラス(生徒)により本の受け止め方もさまざま、その都度新鮮な驚きがあり、それが今も私を育ててくれます。こんないいチャンスを与えて頂いている幸せを感謝しています。



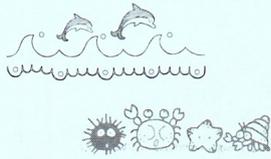
# 第58回 春季茶会の実施

4月19日(日)、恒例の「第58回春季茶会」を金沢地区センターで開催しました。当日は朝から晴天に恵まれ、計266人の喫客がありました。

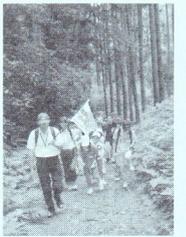
和室の裏千家席主は、金沢の今昔を趣向に春水に始まり、手桶の水指(水を入れる物)、茶杓(茶を掬う物)は、銘・山の井等それぞれ道具に表わし、菓子は山吹の里で、とても好評でした。

ロビーの立礼表千家席主は、山の泉をさくとして春を語り、古染付の水指が一段と光り、水を湛えている様でした。明治時代の僅かな期間に制作された貴重な品で、菓子は都の春を。お客様は、満喫の様子でした。





# 第8回 塩田による塩づくり



「塩田による塩づくり」も回を重ねること8回となりました。今年は生徒が48名、保護者が36名と、いずれも過去最高です。特に保護者の参加が多かったのが特徴的でした。例年通り7月11日(土)10時から金沢公会堂で、「塩づくり」及び「塩の道を歩く」を勉強し、11時10分に公会堂を出発。京急と神奈中バスに分乗して朝比奈で下車。ここから朝比奈切通しを三郎の滝まで歩きます。横浜側は上り坂で水はありません。鎌倉側は下りで常に流水があり、道は大分整備されましたが用心しないと滑りやすいので危険。三郎の滝まで下るともう安心です。光触寺で記念写真を撮り、塩管め地蔵にお参りをし、十二所神社で昼食後解散。



7月26日(日)は海の公園で「塩田による塩づくり」。週間天気予報には大分心配させられたが、当日は好天の塩田日和。ミニ塩田を5面作り5班編成。各班長の指導でゴミ拾いから作業開始。バケツリレーで海水を汲み、海水撒き・熊手で敵づくり・乾燥を3回繰り返すと、砂の塩分濃度が高まります(鹹砂)。この砂を集めて濾過器に入れ、柴漁港で頂いた海水を注ぐと塩分濃度の高い海水(鹹水)ができます。今回は5.5.5% (海水は3%)。局方ガーゼで仕上げ濾過をし、バーベキュー場へ運びステンレス鍋に入れて煮詰め開始。約2時間で塩の結晶が析出。木灰で二ガリ抜きをして完成です。海水の煮詰めに約2時間かかるので、その間を利用してスイカ割りを実施しました。これも恒例行事で生徒さんの大きな楽しみの一つです。今年も一人約10gの塩をお土産に、成功裏に無事終了しました。これも一重に関係者の皆様のご指導・ご協力の賜物と厚く厚く感謝申し上げます。



## 赤ひげ先生250回忌



「赤ひげ先生」こと小川笙船藤原廣正は、江戸時代中期の医者で、江戸小石川(現在の東京都文京区)にて開業。目安箱を通じて、貧しい病人を救う施薬院を提案したところ、8代将軍・徳川吉宗がこれを採用して開設した「小石川養生所」の初代肝煎(院長)に任命されました。赤ひげ先生は、六浦から眺める金沢八景をこよなく愛し、晩年の3年間、現在の瀬ヶ崎と三艘に居住しました。彼は、風流を好み、「山にいては海を語り、海にいては雲を語る」との言葉から「雲語子」と名乗り、遺言で太寧寺に雲語子之墓が建てられました。この墓は昭和18年、戦時疎開で現在の片吹に移転されて一時行方不明となりましたが、平成13年、子孫の小川明氏と檀家・文化団体の人々により再建されました。

赤ひげ先生は、宝暦10年6月14日、享年89歳で亡くなりましたが、今年の命日で没後250回忌となり、金沢区片吹の臨濟宗建長寺派海蔵山太寧寺にて、祈念法要が執り行われました。



## 富山重保公廟所清掃報告

白山道トンネル釜利谷側の左方の山の入り組んだ辺りを「六郎ヶ谷」といい、この奥に禪林寺の境外墓所「六郎さん」の墓があります。六郎さんとは当地の領主であったと伝えられる富山重忠公の嫡男六郎重保公のことで、その五輪塔については金沢区金石誌その二に記載があります。重忠公の子孫で故富山昌之氏の筆による「富山重保公廟所」の立札で、その存在がよく分かります。廟所の清掃は毎年重保公の命日6月22日以前に地元町内会と文化協会が清掃を実施しております(写真参照)。釜利谷を歴史散策される団体さんが気持ちよくお参りできる環境にしたいと思っております。



## 文芸部活動報告

\*金沢区民俳句大会結果\*

「金沢俳句会」では6月7日金沢区センターにおいて、第11回金沢区民俳句大会を開催し、41人の俳句愛好者が集い、当季雑詠を競いました。上位の作品を紹介します。

八景を墨絵に沈め梅雨に入る 赤嶋 昌夫

子離れも節目の一つ今年竹 惣野 圭子

気負なき二人居の日々合歓の花山田 道子

でむしに一滴重き雫かな 鈴木 正

ぐい呑みは何時ものやつで初鯉藤森 志津

傘傾げ紫陽花の径ゆずりあふ 松村彌榮子

友去りて自慢の梅酒遣しけり 太田 耕蔵

喜寿の子と白寿の母や冷し酒 青木 邦彦

好きな道好きに歩いて初夏の風永井 敬子

母と娘が日傘の影をもらいけり本木タイ子

\*金沢区民短歌大会結果\*

「金沢区民歌人会」では、4月29日、八景コミュニティハウスにおいて、短歌愛好家39人を集めて金沢区民短歌大会を開催しました。上位の方の作品を紹介します。

足痛め厨を夫に譲りたり 中井郁子

魚さばく手の妙に楽しげ 鈴木育子

退院の喜びあふるる便りきぬ 鈴木育子

文字は左に少し流れて 鈴木育子

美術館を出で来し夕べの明るさや 市川定子

日脚伸びたりけふ二月尽 市川定子

# 文化協会行事予定

(日程順)

(連絡先)

|                    |                                     |       |      |
|--------------------|-------------------------------------|-------|------|
| 9月16日(水)～20日(日)    | 金沢地区センター<br>余呉区民参加 区民の作品展及び小中学生の作品展 | (788) | 7804 |
| 9月19日(土)～20日(日)    | 金沢地区センター<br>金沢区民文化祭参加 華道展           | (701) | 2477 |
| 9月20日(日)           | 金沢地区センター<br>金沢区民文化祭参加 秋季茶会          | (788) | 0988 |
| 9月27日(日)           | 金沢地区センター<br>金沢区児童生徒読書大会             | (701) | 4964 |
| 10月3日(土)           | 金沢公会堂<br>金沢桐韻会25周年記念 箏 演奏会          | (781) | 1483 |
| 10月4日(日)           | 神奈川県立音楽堂<br>横濱交響楽団・三吉田ジョイントコンサート    | (771) | 4723 |
| 10月17日(土)          | 金沢公会堂<br>金沢歌謡祭                      | (783) | 5479 |
| 10月18日(日)          | 金沢公会堂<br>金沢区民文化祭参加 金沢区音楽のつどい        | (784) | 1183 |
| 10月24日(土)          | 金沢公会堂<br>金沢区民文化祭参加 吟と舞の祭典           | (783) | 2284 |
| 10月25日(日)          | 金沢動物園・のほな館<br>金沢区民俳句(吟行)大会          | (781) | 5044 |
| 11月1日(日)           | 金沢公会堂<br>歴史講演会「伊藤博文公と金沢別邸」          | (781) | 8665 |
| 11月3日(火・祝)         | 金沢公会堂<br>金沢区民文化祭参加 金沢三曲演奏会          | (781) | 1483 |
| 11月4日(水)～9日(月)     | 磯子区民文化センターギャラリー<br>金沢フォトクラブ第14回写真展  | (701) | 7495 |
| 11月8日(日)           | 金沢区民短歌大会                            | (782) | 1055 |
| 11月19日(日)～23日(月・祝) | 能登台地区センター<br>金沢区美術展                 | (701) | 2445 |
| 12月6日(日)           | 金沢公会堂<br>金沢区民文化祭参加 金沢区日本舞踊連盟公演      | (701) | 9207 |
| 12月13日(日)          | 金沢公会堂<br>金沢区民文化祭参加 金沢区小・中学校音楽祭      | (788) | 7804 |
| 2月10日(水)～16日(火)    | 磯子区民文化センターギャラリー<br>金沢区書道協会展         | (701) | 4964 |
| 2月27日(土)           | 金沢公会堂<br>文化講演会                      | (781) | 5044 |
| 3月                 | 野島研修センター前<br>海苔の手作り教室               | (784) | 4192 |

## 団体会員紹介

**金沢区美術協会** 江口 壽一  
当美術協会は平成20年5月、金沢区の美術・絵画の振興と会員相互の親睦・交流を図るため立ち上げて早や1年を経過しました。現在会員数は約80名。今年度中に100名をめざしています。金沢区には、ご承知の通り作品の展示会場がないため、作品展示には苦勞していますが、この度、関内の市民ギャラリーで「第1回金沢区美術協会・会員展」を8月11日(火)～16日(日)まで、NPO法人横浜金沢文化協会の後援を得て開催する事が出来、2800名を超える来観者があり、盛會裡に終了しました。出品者数45名で、油彩・水彩・水墨・パステル・切絵・彫刻等多彩なジャンルで会場を飾りました。この展覧会で、当美術協会の存在を広く知らしめることが出来たと思えます。



## 個人会員紹介

**文芸部** 小櫃 健一  
横須賀に生まれ育った私は、戦後間もなくの六浦中学校奉職を機縁に、金沢区民となりました。二十歳代半ばの若輩ながら、教科指導、学級担当のほか、試行的に導入された学年付カウンセラーとして、長欠者の家庭訪問や校区内の父母懇談会などで、すっかりご厄介になりました。約3年後の県立高校転出からは心ならずも直接的な地域活動は疎遠になりました。時を経て、70歳を越えてから誘われた泥亀短歌会が、約50年ぶりの地元回帰の切っ掛けとなりましたが、さしたる円熟も果たせぬままに、せめてものご恩返しできればと願っております。



## 賛助会員紹介

**関東学院大学 事務長** 佐々木 強  
関東学院大学は、1884年(明治17年)に創設され、横浜バプテスト神学校を源流とし、本年10月6日に学院創立125周年を迎えます。キリスト教の精神を建学の理念とし、校則「人になれ 奉仕せよ」のもと、高等教育機関としての使命を果たしつつ、この精神を生かした社会貢献事業を展開しています。

現在、文・経・法・工・人間環境の5学部を置き、大学院には文・経・法・工の各研究科と法科大学院を設けています。体系化したカリキュラムの充実はもとより、各種課程及び豊富な資格取得講座、情報リテラシー習得を目指すPC環境、各種の奨学制度など、一人ひとりの学生の個性を大事にする多彩な学びを提供しています。



## 賛助会員紹介

岩下書店 岩下 寛治  
昭和47年、ユニー(現・アピタ)開店とともに、1階17坪で出店して早くも38年が経ちました。その後、3階45坪に移り、平成になって現在の62坪の店舗になりました。この間の金沢文庫は、目まぐるしく発展して来ました。この歴史ある金沢文庫で、書店を経営できることを、誠に幸せに感じています。地域密着型の店作りを心掛けており、楠山永雄先生の「ぶらり金沢散歩」や「季刊横浜」金沢特集など、ロングセラーとして、今でも店頭に並べ地域一番の売上をしています。また、2年前に当店初の出版「金沢パノラマ地図」を発行し、読売新聞泉版で紹介され、予想を上回る売上となつています。それが認められ昨年、横浜市地域貢献企業に認定されました。これから益々、書店として地域発展のためにも、横浜金沢文化協会に協力出来るよう努力して参りたいと思えます。



## 編集後記

今回も、皆様からの投稿等が多く、紙面も充実したと思います。特に掲載を希望する行事等がありましたら、積極的に左記編集委員へお知らせ下さい。

### 編集委員

- 一之瀬 炯次・氏家 総子・小櫃 健一
  - 後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一
  - 鈴木 稔・野中 建吾・森川 淳子
- (五十音順)